R3. 9. 27 (月)

福島建設工業新聞
昭和44年1月10日第三種郵便物認可

田島・南会津 統合校寄宿舎

公募型プロポを実施

安達地区 特別支援は設計入り

県教育庁は、2023年4月の統合を計画している田島・南会津高校で、統合後に校舎を活用することとなる田島高校の敷地内に、寄宿舎と特別支援学校を整備する。24日の9月県議会本会議で教育長が示した。

寄宿舎は、工期短縮を目指し事業者が設計施工したものを県が買い取る「買い取り型」を採用。23年の統合校供用開始に合わせて、寄宿舎も使用できるようにする。敷地内入り口付近に、2階建て延べ700平方㍍程度、26人規模で予定しており、公募型プロポーザルにより、年内をめどに事業者を決める。発注は県立高校改革室が行う。

特別支援学校は、26年4月開校を目指し、整備に伴う調査を開始する。小中高等部合わせて35人の定員を想定している。

安達地区特別支援学校については、小中学部が二本松市の旧建設技術学院跡地に新設。高等部が本宮高校に併設することが昨年12月県議会で示されている。

二本松市との協議が整ったことから、小中学部校舎の設計に着手するため、9月補正予算案に基本・実施設計費を計上した。定員は小中高等部合わせて75人を予定。

25年4月開校だが、小中学部は田村支援学校を利用し、同年半ばに新校舎ができ次第、移転する。高等部は本宮高校の校舎の一部を支援学校向けに整備して対応する。